

## 単純ヘルペスとは

健 康

通 信

常陸大宮済生会病院

皮膚科  
倉持 美也子 先生

ヘルペスとは、水ぶくれが集まった状態のことをいいます。これは「ヘルペスウイルス」による感染症で、人間に感染するこのウイルスは8種類あり、単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルスなどがそれに含まれます。

「単純ヘルペス」は、私たち誰もがかかる可能性のある、ごくありふれた皮膚の感染症です。単純ヘルペスウイルスが原因となって、発疹や水ぶくれなどの症状が現れます。

ウイルスには1型と2型の2種類があります。

1型は口の周りや顔面など上半身に発症することが多く、2型は性器や下肢など、主に下半身に症状が出るといわれています。このうち、口の周りにできるものを「口唇ヘルペス」といい、成人の約3割で発症経験があるとされています。初めにかゆみや違和感といった前駆症状があり、1～2日後には紅斑、小水疱が集簇してでき、その後、水疱は膿疱、痂皮かさひに変わり、1週間ほどで治癒します。性器周辺にできるものを「性器ヘルペス」と呼び、特に再発が多く、数週間ごとに皮疹を繰り返す例もあります。



単純ヘルペスウイルスは感染力が強く、しかも一度感染すると、症状が治ってもウイルスは体内の神経節に潜り込み、一生そこに棲みついてしまいます。発熱、紫外線、疲労、ストレスなどの免疫低下に伴い、ウイルスが再活性化され、数年に1回から月1回程度まで、様々な頻度で再発を繰り返します。

治療には抗ウイルス薬の飲み薬、塗り薬を使います。症状が出たらなるべく早めに薬を飲むと、重症化を防ぐことができます。症状が軽い時やピークを過ぎた場合は、塗り薬のみで様子を見ることもあります。

大切なのは、もし感染した場合には、症状を悪化させずに早期に治療すること、人にうつさないこと、そして再発を予防していくことです。